

CT 検査の紹介

＜CT 検査の概要＞

CT とは、Computed Tomography（コンピュータ断層撮影）の略で、放射線の一種である X 線を利用し、身体の断面像を撮影する検査です。また、造影剤を用いることで、コントラスト（組織間の濃度差）をつけ、より詳細に画像評価をしやすくなります（腫瘍などの評価にも活用）。



＜検査方法＞

CT の検査方法として、[1]単純 CT 検査と[2]造影 CT 検査の 2 種類があります。

[1]単純 CT 検査：造影剤を使用せずに検査を行います（検査時間 5～10 分程度）。

[2]造影 CT 検査：造影剤を静脈から注入して検査を行います（検査時間 20 分程度）。

※原則絶食：腹部単純 CT 検査、全ての造影 CT 検査（検査の案内時に説明があります）
直前の食事はお控えください（例えば午前中の検査なら朝食抜き、午後の検査なら昼食抜き）。

上記以外の検査では特に食事制限はありません。

造影検査のために休薬指示があった薬以外の常備薬は服用可能です。

少量のお茶や水は飲んでも構いません（多量はお控えください）。

＜造影剤＞

造影剤には様々な種類のものがあります。CT 検査で用いる造影剤は一般的には「ヨード造影剤」といわれるものです。造影剤を用いることにより血管や臓器を見やすくすることが出来ます。ヨード造影剤は、すべて有機ヨード化合物でできています。これらは、人体には極めて安全な薬であり、身体にほとんど影響も与えず尿として排泄されますが、稀に副作用を起こしてしまう可能性があります。検査後、造影剤の排泄を促すために多めの水分(500ml 以上)を摂取してください。



＜造影剤による副作用について＞

軽度な副作用 (5%未満)	吐き気、かゆみ、発疹など
重度な副作用 (2.5万人に1人)	血圧低下、呼吸困難、意識障害、腎不全、痙攣など

ヨード造影剤による副作用は軽度なものから重度なものまであり、以下のようなものがあります。

これらの副作用は、検査中や検査直後に起きることがほとんどですが、稀に検査が終わって時間が経過してから起きることもあります。当院での検査後にこのような症状があらわれた時は、すぐに下記までご連絡ください。

連絡先：相生会宮田病院(代表) TEL：0949-32-3000